令和４年度

学校経営の全体構想

揖斐川町立清水小学校

【揖斐川町の学校教育の方針】
- 学校の教育目標の具現に徹する学校経営をする。
- 一人一人に「生きる力」を育む指導をする。
- 郷土への誇りと愛着をもち、相手を思いやる心を育てる指導をする。

【学校の課題】
- 学校の教育目標の観点で，児童の行為とその心を価値づけ，方向付ける。
- 学び方を身に付け，確かな学力の定着を目指す。
- 正しい価値観を育み，自己肯定感を育む。

【児童の実態】
- 優しい子が多いが，その心の価値づけが弱い。
- 学力の定着率はよいが，自分の意見に自信をもって話すことが弱い。
- 自分で判断し，行動することに弱さが見られる。

【学校の教育目標】

きよらかな心で　　よく考え　　みずから活動する子

人を大切にする子（共生力）　　よく考える子（創造力）　　挑戦する子（実践力）

【学校経営の方針】

社会でよりよく生きる力を身に付ける

「将来に亘り幸せにたくましく生き抜く人」が育つ**「誰もが笑顔になる学校」**づくり

【具体的な取り組み】

取り組み内容 （学校生活での指導，家庭地域との連携）	評価 （職員間での評価，学校評価）
1　学習指導 **○確かな学力と豊かな表現力を身に付ける。** ・授業の明確な出口と，学びが実感できる振り返り。 ・対話的な学びにつながる交流活動や発問の工夫。 ・学びの質を高めるための言語感覚の育成。 ・特別支援教育の視点を踏まえる（UD による授業）。 ・ICT 機器の有効活用（個別最適な学び・協働的な学び）。	・学力テスト結果の共有，検討 ・家庭への発信，評価 ・子どもによる授業評価 ・ICT 活用の情報共有，交流 ■結果を分析し数値で検証する。
2　生徒指導 **○豊かな心を育むために，日々の指導を大切にする。** ・「きよらなか心づくり」でよさを認め合い，心を価値づけることで自己肯定感を高める。 ・ケース会議等，組織で情報共有，組織で迅速に対応。 ・ｽｸｰﾙｶｳﾝｾﾗｰ，ｽｸｰﾙ相談員，専門機関と連携する。	・毎週の児童交流，全担任とのケース会議で共有，検討 ・専門機関との連携，評価 ■指導の成果を子どもの姿で検証する。
3　働き方改革 **○45 時間／月，360 時間／年 を意識して勤務する。** ・勤務時間の管理，　19 時退校，ノー残業デーの徹底 ・自己管理能力を育てる。（自分で勤務時間を調整） **○同僚性を生かして資質向上と業務の効率化を図る。**	・毎週の勤務時間の振り返り ・10 分早帰り意識の継続 ■自分で勤務時間を管理し，調整できているか検証する。

【保護者・地域・専門機関との連携】
- 保護者との連携（家庭教育学級・学校(学級)通信・懇談等）
- 専門機関の指導（特別支援学校，医療機関，SC 等）
- 学校評議員による参観と懇談，地域人材の活用（ふるさと学習，体験活動，地域との合同行事等）
- 学校安全サポーターとの連携（分団会や登校後のミニ交流会等）

【教職員の構え】

子どもの育ちを
喜び合える職員集団

○「子どもに力をつけるため」の理念を共有し，常に趣旨を考える教職員
- 組織で支え合う（共生力）
- 組織で考える（創造力）
- 組織でやりきる（実践力）